

懸命に生きる人々

日本人こそ学んでほしい！

マス塾新報

島マス記念塾
事務局担当者
無責任編集
Tel.937-3385
MASU@OKICITY
SHAKYO.COM
島マス記念塾

池間哲郎先生の情熱
あふれる熱い講義！



★本当に、今日講義に来れた事を幸運だと感じます。父として教育について学びました。小さな子供達が生きていくために、笑顔で一生懸命な姿に心を打たれました。まずは自分自身が一生懸命生きます。
(城間賢五)

★世界には、キレイな水を飲める国や学問・教育を受けられない国がたくさんある事を改めて知る事ができました。小さな事でも、自分出来る事ややっていける事を考えたと思う。
(玉城美香)

★一か月余り休んでいた講義に今日参加出来た事



を嬉しく思いました。池間先生の「毎日を懸命に生きること」この言葉の深い意味を学ばさせて頂きました。時間が足りないと感じるくらい、池間先生のお話を聞きたいと思いました。
(伊波秀輝)

★今日は貴重な講演を聞いて、胸いっぱい目頭も熱くなり、衝撃的なお話に頭がいまだに整理しきれっていません。今日の90分の講義の時間に様々な想い、感情を感じさせて下さった事に感謝します。豊かで、贅沢な日本の中で生きてきて、自分は今まで何をしてきたの



だろうと自分がちっぽけに感じて、とても恥ずかしくなりました。当たり前を当たり前と思わず、生きていくこと自体、健康な体、衣食住が守られている事自体に、もっと感謝します。適当ではなく、一生懸命自分の夢に、とことん向き合っているという気持ちになりました。ありがとうございます。
(糸数抄子)

★先生の人生を変えた、ゴミの山で一生懸命生きる子供の目。映像であっても心が動かされました。実際の現場に行く勇氣はないですが、日々「自分自身が一生懸命生きる事」

